



2学期の始業式で、「夏休みそして今学期は切り替わりの時期」という話をしました。3年生は、学校の中心として様々なところで下級生の手本となり、学校行事等をリードしてきました。そしていよいよ進路を決定する大切な時期となってきます。1、2年生は、生徒会活動の中心となり、特に2年生が学校行事をリードしていく立場となります。また、行事の多い学期となり、愛宕台中の生徒は「行事で心を豊かに成長させていく」という伝統がありますので、行事に自分から積極的に取り組み、心を豊かに耕してほしいと思います。

文化祭 校名改称60周年記念 10月1日(土)

愛宕台中学校は校名を昭和37年10月1日に御厨町立第二中学校から、現在の足利市立愛宕台中学校と改称しました。改称してからちょうど60年目となります。文化祭での発表は、総合の学習の時間や土曜日授業で各学年テーマに沿って各学級でまとめたものとなります。午前中のみの開催ではありますが、ご覧いただければ幸いです。なお、文化祭のスローガン「作るを創る」は2年生の市倉奈茄さん、シンボルマークは3年生の塩谷昊明さんの作品に決定しました。



また、今回の文化祭の参加につきましては、新型コロナウイルス感染防止対策のためご家族の方々と来賓のみといたします。ご来場の際はご家族と一緒に受付され見学をお願いいたします。

さらに、校名改称60周年記念にあたって同窓会様より大型のプリンターを寄贈していただきました。今後も教育活動に有効利用させていただきます。

職員紹介 よろしくお願ひします。

宇都宮大学大学院より中野知子先生がおみえになりました。今年度は12月までとなりますが、火曜日と木曜日にお見えになり、授業での支援をしてまいります。

また、教員業務支援員の新井博様がコロナ感染症対策として校内の消毒を週に1回行ってくださっていましたが、週2回となりました。また、前田美佐江様と細貝清様が新たに来校して下さり、コロナ感染症対策を行ってくださいます。

雑感 (テレビの時代から、今は・・・) そのままにしておいていい?

テレビが各家庭で買えるようになったのは昭和の中頃でしょうか。その頃は、テレビに対する様々な意見が出ていたようです。(本を読まなくなる、情報伝達の道具、考えることをしなくなる、教養が身につく、いつまでも見ている)いつの間にかテレビは各家庭の必需品のようになってきました。そして、その頃のアニメには、高いところにある道路を車が走ったり、腕時計型の会話装置、小型の空を飛ぶ乗り物、二足歩行するロボットなどが夢物語のように描かれていましたが、似たような製品はすでに作られています。

最近「テレビ離れ」という言葉を聞きます。テレビにかわり「スマホやゲーム」がアイテムとなってきています。そして、テレビの普及同様にさまざまな意見が出ています。正確ではありませんが聞き覚えのある言葉を書くと、ぼけ防止になる、ゲーム依存症、脳のある部分が成長する、脳の発達が一様ではない、脳内で幸せを感じる物質が出る、脳内で幸せを感じる物質を受け止められなくなる=幸せを感じにくくなる、社会的なつながり、顎関節症、指の変形、脳の成長が見られない、未成年者のゲームを週3時間までと制限した国がある、課金問題、現実逃避できる。そんな情報が社会には、あふれています。

さまざまな意見がある中「スマホやゲーム」のアイテムとしての、利点、欠点についてしっかりと向き合い、家庭での約束作りをお願いします。